

かねざわ 第64号

平成30(2018)年2月

(P-2) 分科会代表との連絡会 報告

(P-34) 【歴史研究】 江戸時代の五街道を歩く —新連載—



次

運営委員会からの報告

- 2 分科会代表との連絡会 報告
- 5 会員募集（仮称：万葉集を読む会）

学習会

- 6 第7回学習会
「江戸時代の海運と野島・町屋」

分科会からの便り

- 12 「寺社を巡る会」活動記録
- 18 「懐かしの映画を観る会」 No25
代表 佐藤 晃
- 24 「ふれあいの道歩こう会」実施概要 No20
代表 江口正彦
- 27 「浮雲俳句会」 抄録 No40
代表 北野清市

- 32 パソコン何でも相談室 【14】

代表 林 洋

歴史研究

- 34 「江戸時代の五街道を歩く(1)」
「古文書を読む会」 代表 真田雅行

会員からの寄稿

- 38 「ココモ対策として“わ”の会を活用」

鶴岡重典

会員の動静

- 39 訃報

- 40 行事予定 3月～5月



金沢区生涯学習“わ”の会

ホームページ：<http://kanazawa-wanokai.in.coccan.jp/>
メー ル：yokohama.kanazawa.wanokai@gmail.com

第 13 回分科会代表との連絡会 報告

分科会代表と運営委員との平成 29 年度連絡会が開催されました。

その内容を報告します。

日 時 平成 30 年 1 月 20 日(土) 10:30~12:30

場 所 金沢区民活動センター会議室 AB

出席者 寺社を巡る会：吉田代表 古文書を読む会：真田代表

ふれあいの道歩こう会：江口代表 懐かしの映画を観る会：内田氏（代理出席）

浮雲俳句会：小俣氏（代理出席） パソコンを使いこなす会：林代表

運営委員：内田 江口 山腰 鈴木 深澤 鶴岡 杉山

1. 内田代表挨拶

“わ”の会は学習会と分科会は車の両輪である。さらなる発展のため、七つ目の分科会を立ち上げる準備をしている、次回公開講座でアピールしたい。

2. 議 事

2-1 各分科会の活動に関する事項

1) 今年度活動状況と来年度の活動予定

寺社を巡る会（吉田代表）

- ・会員数 45 名 各回の参加者数 35~6 名（体力的に問題がある会員もいる）
- ・今年度から年度を 5 月~翌 4 月（従来は 6 月~翌 5 月）に変更した
- ・今年度は鎌倉ガイド協会にガイドを依頼した鎌倉巡りの 2 年度目、テーマを決め行き先を選定、予定通り進行中
- ・平成 30 年度は、鎌倉巡り最終年度として「鎌倉再発見」をメインテーマに掲げ、きついコースを避け計画を策定中である
- ・鎌倉巡り終了後については次回役員会で方向性を決めたい

古文書を読む会（真田代表）

- ・会員数 16 名、会員数については適当な人数と思われる
- ・会計年度を 1~12 月から 4~翌 3 月に変更（活動年度は 1~12 月変更なし）
- ・平成 29 年度活動計画は第一学習・第二学習とも予定どおり終了した
- ・平成 30 年度活動予定
 - 1) 第一学習（第 2 木曜日）野島浦 鈴木家文書 文書量が多く年度内に修了しない見込み
 - 2) 第二学習（第 4 木曜日）艱難実録（箱館戦争）文書量が多く年度内に修了しない見込み
初心者も理解しやすい文書である

ふれあいの道歩こう会（江口代表）

- ・「関東ふれあいの道」からスタートした「ふれあいの道歩こう会」は今年度 15 周年を迎える
- ・平成 29 年度は、江口代表以下役員が交代し「関東ふれあいの道」に参加していない役員構成とな

った

- 平成 29 年度は、一泊で安達太良山縦走他予定通り、無事故で計画を達成できた
- 8 月の山の日に計画した、ボランティア清掃山歩きは天候不良で中止した
- 会員数は 20 名（女性 7 名）及びビジター 5 名（女性 1 名）出席率約 80%

懐かしの映画を観る会（内田代理）

- 会員数 80 名 出席数は約 50%である
- 今年度は予定通り進行中
- 来年度は、佐藤代表の健康上の理由から今までの選定方式をやめ、過去に上映したのから選定し原案を纏めた

浮雲俳句会（小俣代理）

- 会員数 17 名（女性 6 名）会員数は横ばいである
- 今年度分予定どおり進行中
- 来年度のテーマは宇宙俳句(宇宙・太陽・星) テーマが大きくとらえどころがないので、コメントをつける

パソコンを使いこなす会（林代表）

- 会員数 26 名 出席者数平均 20.2 名
- EXCEL 講座：8 回 WORD 講座：8 回 Windows 講座：4 回 Internet 講座：3 回 画像処理講座：1 回 計 24 講座を実施した
- 平成 30 年度活動予定は分科会にて検討中、今後学習したい項目を調査したところ多岐にわたり希望項目が分散していることがうかがえた
- “わ”の会会員から Windows10 を使う上での困りごとの相談が数件あった、今後も、個別の相談に応じたい

2) 10 周年、15 周年記念事業の状況紹介

ふれあいの道歩こう会（江口代表）

- 15 周年記念行事として ①山歩きガイドの講習会②ふれあい記録第 4 集の作成を予定している

パソコンを使いこなす会（林代表）

- 現時点では決まっていないが、今後検討する ← “わ”の会から 10 周年記念事業に補助金が出ます

2-2 “わ”の会の運営に関する事項

1) 新入会員懇談会について

- 2017 年 7 月 29 日区民活動センター会議室で開催
- 出席者 新入会員 7 名中 3 名（青木・平山・熊谷各氏） 各分科会代表 運営委員 5 名
- 目的 「疎外感」「孤立感」を感じさせないためと「分科会」への勧誘・運営委員候補の人选
- 結果 参加 3 名とも分科会に入会しており、会の状況認識があり、説明が浸透しやすかった。今回は出席者構成のバランスをはかり、運営委員の数を制限した
- 来年度の開催は平成 30 年 7 月 28 日に予定している

2) 学習会について

- 来年度予定

- ① 第1回学習会講師は真田雅行氏で第1回学習会講師は10年連続会員による自主講演となる。探訪は講演と関連して六浦地区
 - ② 学習会の講師として呉座勇一氏（応仁の乱）・呉座氏から推薦があった谷口裕太氏（結城合戦から享徳の乱）が含まれている
 - ③ 公開歴史講座は講師田中常義氏（野口英世細菌検査室保存会会長）テーマ「金沢地先の海岸と長浜検疫所・横浜港」が予定されている
- ・意見⇒アンケート内容が同じなので答えがマンネリ化しているのではないかな
→アンケートに対する答えと答え方検討必要では

3) 来年度体制について

- ・運営委員は鈴木氏が退任し現在8名体制であり、今後の運営に支障を来す恐れがあるが、運営委員就任の打診をしても受け手がなく困っている、分科会から推薦をお願いしたい
- ・20周年記念事業
 - ① 事典第3版発行⇒印刷はエイシン川崎に決定・会員には無償配布する・販売促進を検討する
 - ② 記念講演⇒6月に2部構成で開催、会場は市大カメリアホールを予定している
 - ③ 祝賀会
 - ④ “わ”の会20年の歩み⇒発刊時期未定

4) 歴史事典について

- ・「第3版かねざわの歴史事典」として平成30年5月の総会で配布予定
- ・判型はB5ハンディタイプとし、追加項目：79、総項目：1,583

5) 会報について

- ・平成29年は、予定通り4回発行、充実した紙面となったと思われる
- ・会員からの投稿が少なく、今後の課題である
- ・平成30年の予定⇒例年通り4回発行の予定
- ・投稿は、投稿規定にあった形式にしていきたい

6) ホームページ、“わ”の会通信について

- ・ホームページ開設後、13年経過した。2017年度のアクセス数は475回/月で若干増加している
- ・“わ”の会通信、今年3月で創刊13年を迎える。2016年の発行数6号で減少している
- ・ホームページ管理者が金間氏から江口氏に交代（2017年4月）した
- ・会員の寄稿、レポート、会員の動静ページの活発化に協力願いたい
- ・HPが各分科会内の連絡手段として大きな役割を果たしている

7) フォーラム KANAZAWA について

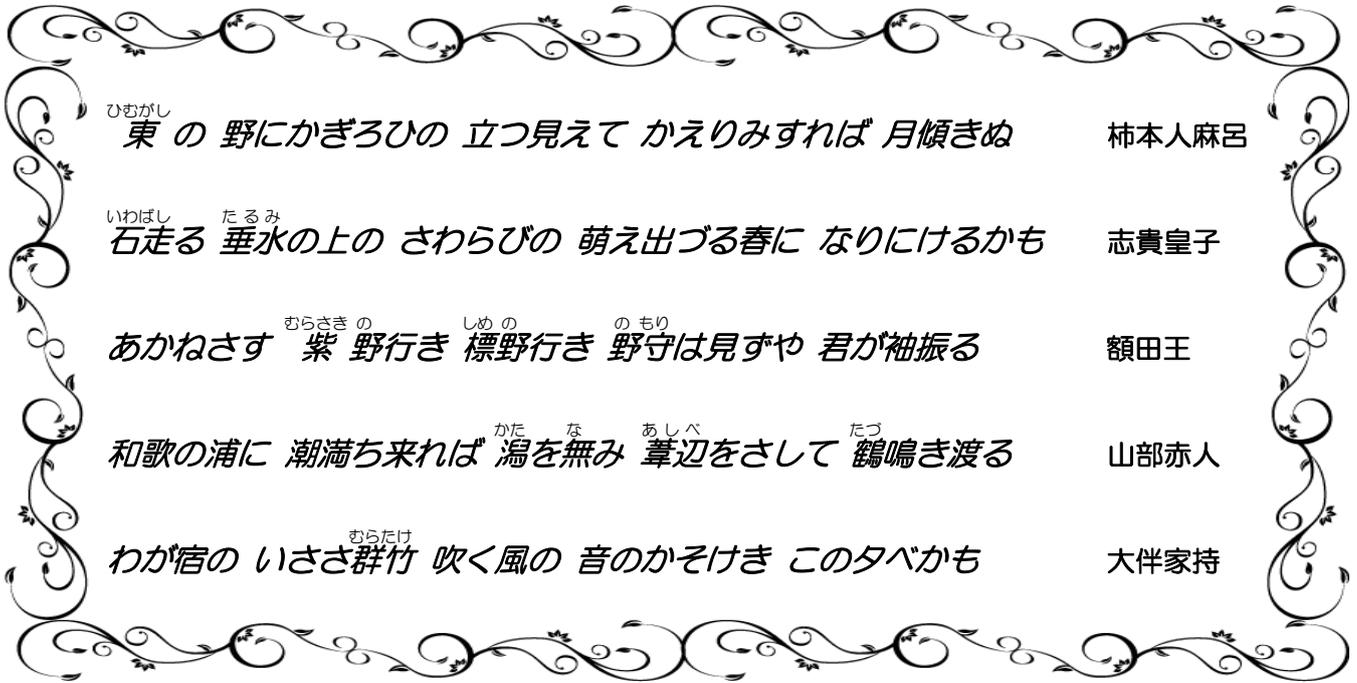
- ・2017年3月18日及び11月18日に金沢区役所で開催された
- ・“わ”の会目的・学習会・分科会活動の展示を行い、新入会者があるなど成果があった

2-3 分科会から運営委員会へのご要望、ご意見

- ・特になし

以上

一緒に『万葉集』を読みませんか



^{ひむがし}東の野にかぎろひの 立つ見えて かえりみすれば 月傾きぬ 柿本人麻呂

^{いわばし}石走る ^{たるみ}垂水の上の さわらびの 萌え出づる春に なりにけるかも 志貴皇子

あかねさす ^{むらさきの}紫野行き ^{しめの}標野行き ^{のもり}野守は見ずや 君が袖振る 額田王

和歌の浦に 潮満ち来れば ^{かた}湯を無み ^な葦辺をさして ^{あしべ}鶴鳴き渡る 山部赤人

わが宿の ^{むらたけ}いささ群竹 吹く風の 音のかそけき この夕べかも 大伴家持

これらの和歌は、みなさん、学校で学んだり、耳にしたことがあると思います。
これらの和歌が収められているのが、現存するわが国最古の和歌集「万葉集」で、
約 4, 500 首の和歌が収められています。

上記の5首以外にも秀れた和歌が数多くあります。

万葉集に興味をお持ちの方々と一緒に読んでみたいと思っています。

発起人も万葉集については素人なので、みなさんと相談しながら進めていきたいと思っています。従って、発足当初は同好会とし、内容が充実してくれば、“わ”の会の分科会への移行も検討したいと思っています。



入会希望の方は下記の“わ”の会電子メール宛てに、氏名、住所、メールアドレス、TEL番号をお知らせください。

なお、顔合わせおよび当会の進め方についての検討会を 3月13日(火) 13時から 区役所 2階区民活動センターA会議室で開催しますので、ご参加ください。

“わ”の会 電子メール：yokohama.kanazawa.wanokai@gmail.com



発起人
(五十音順)

内田孝知
真田雅行
松本和俊
山腰策次郎

熟田津に船乗せむと月待ては
潮もかなひぬ今は漕ぎ出でな
額田王

額田王

第7回学習会

『江戸時代の海運と野島・町屋』

開催日：平成29年11月11日（土）

9：30～12：00

会 場：能見台地区センター

講 師：横浜開港資料館 副館長

西川 武臣 氏



【概 要】

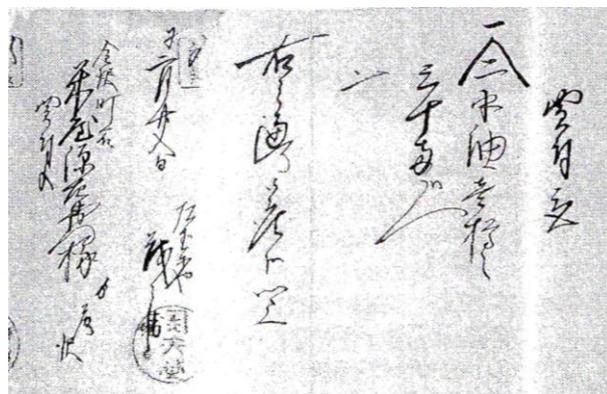
「江戸時代の流通」古文書が証明

平成21年10月から翌年1月にかけて藤沢市でマンション建設にともなう史跡発掘調査が行われ、土中から江戸時代に使われたと思われる木製の荷札400点以上が発見された。発掘地点は東海道藤沢宿の中心部で塵芥物廃却用地から出土された。これら荷札は、現在の宅配便業者が荷物に貼付されている伝票のような役割を果たしていた。藤沢宿は東海道の宿場町として発展し、江戸時代後期には千軒近い家並みが続く町であった。そのため多くの商人が住み、当時地域流通の拠点として大

きな役割を果たしていた。荷札の発見はそうした江戸時代の宿場の姿を現在に伝えるものであり、考古学会や歴史学会の注目を浴びた。また今年3月21日には藤沢市教育委員会が発掘結果を市民に報告するシンポジウムでは発掘を担当した株式会社「博通」の宮田眞氏が江戸時代の荷札が土中から大量に発見されることは大変珍しいことだと報告された。発掘された荷札の中に文字が解読できるものが少なからずあったという。具体的には水油（菜種やゴマを原料とする照明用油）や雑穀

が、塵芥物廃却用地の近くに屋敷を持っていた伏見屋市兵衛や煙草屋茂兵衛という商人に送られていたことが発表された。ところで講師は横浜金沢区の旧家松本家（屋号、米屋、江戸時代後期の当主は源左衛門を名乗った）に伝来した江戸時代後期の古文書を整理したことがある。その際古文書の中に藤沢宿の商人が金沢の商人に荷物を販売した時に作成した送り状（荷物を出荷した商人が商品の量や代金を通達した文書）が含まれていた。藤沢宿の商人が周辺農村から集荷した水油を金沢の商人に送っていたことが明らかになった。水油

は馬の背に括られ鎌倉切通しを経て千代本・東屋等旅籠、料亭に灯りの油として送られたのであろう。



金沢区の旧家（松本家）から発見された古文書（米屋源左衛門への送り状）

町屋村の商人・職人

名 前	職種・/扱い商品等	名 前	職種・/扱い商品等
松本源左衛門	米穀・塩仲買小売り・質屋	秋本七兵衛	畳
萩原則之	米穀・酒類・雑品小売り	加鳥熊太郎	大工
鹿島啓太郎	米穀・酒類・雑品小売り	松本徳蔵	左官
小林久七	菓子小売り	金子徳次郎	石工
長瀬勇次郎	菓子小売り	藤田徳次郎	旅籠屋
双田長左衛門	菓子小売り	渡邊ため	飲食店
伴田五郎兵衛	菓子小売り	大塚清蔵	湯屋
松本富士松	薪・米穀・塩・魚類小売り	秋本重兵衛	湯屋
市村八十吉	塩・干魚・乾物	金子長吉	理髪人
森田重吉」	塩・干魚・乾物	大谷とく	女髪結い
柴田虎吉」	薪小売り・古道具	松本伸治郎	麴・酒類小売り
松本平七	豆腐	長瀬えい	女髪結い
松本松五郎	桶	門倉駒次郎	鍛冶
中田良助	染物		

下記は別資料（省略）をまとめたものである。源左衛門がある年の4月初旬から12月末日までに集荷した物資の一覧である。（但し、松本源左衛門関係文書は横浜開港資料館に収蔵される以前に幾つかに分割されたと思われる節がある。従って実際の取引量はここに示した数字よりも大きい可

能性がある）この表によれば九ヶ月間に塩 300 俵・米（含餅米）196 俵・雑穀（小麦、大豆、小豆、蕎麦）47 俵・醤油 80 樽・瀬戸物 15 俵・水油5樽・煙草 12 個・糠 12 俵・×柏3俵・素麵 900 以上・麴 10 枚・かつお節 29 本・線香 1 箱・紙 1 個以上・みりん5合・油8斗4合・ご

ま油1斗・杉皮上物16束・上酒8升・笠2ツ・こも包4つ・むしろ包2つ・(杉・杉小割、ろうそく・茶の4品は数量不明)を集荷している。

松本関係文書は全部で634点。内容は各地の商

人が源左衛門に宛てた「送り状」「書状」。

作成月ごとに紙縫りで縛ってあり中には嘉永4年から安政5年を記した付箋がついているものもある。

資料1

のじま伝十郎舟 送状之事
一、素めん 九百入 但シ玉榎印五ツ
一、醤油 十樽入 但し 印
右の通り積入申候間、入津之砌改御受取可
被下候、運賃御払被下候
六月九日 神奈川青木町
鶴屋八郎右衛門
米屋源左衛門殿

資料2

覚
馬金沢
一、上ツキ麦 三俵 庄右衛門
右之通御受取駄ちん御払可被成候、以上
卯正月廿月 相州
岩五郎八に関野 藤沢
米屋源左衛門殿

史料1は「送り状」と呼ばれている。この文書は品物を取引先に送った際に品物と一緒に渡したもので品物の内容を証明する文書。発送者は神奈川宿青木町の鶴屋八郎右衛門であり受け取りは源左衛門である。送り状には輸送方法が記されることもある。野島の伝十郎の舟を使って輸送してい

る。

史料2は「覚」としか記されていないが「上搗麦 3俵」を送ったことを証明する「送り状」である。史料2は藤沢宿の関野岩五郎で輸送には金沢の庄右衛門所有の馬が利用されている。

編集付記

鎌倉駅を出て若宮大路に立つと北側に賑やかそうな鶴岡八幡宮が見える。南は滑川沿いに数km行くと由比ヶ浜材木座海岸に出る。和賀江の築島に出る。わが国最古の築港遺跡として国の史跡に指定されています。前浜に着岸する船の安全や便利のため阿弥陀仏に発意して幕府に許可を求め執権北条泰時が強力に援助して築かれたという。江戸

時代になっても和賀江島は「石蔵」「舟入石蔵」と呼ばれ、材木座村や小坪村の漁船の船のつなぎ場として利用されていた。江戸時代には八幡宮の修復工事の際の材木や石を運んできた船の停泊場所であった。さらには海上輸送される商業物資の荷揚げ、荷下ろしとしても利用されていたのではなかろうか。(参考：平凡社 日本歴史大系 神奈川)

(渡邊紀一 記)

2017年度第7回学習会アンケート集計と実施報告

1. アンケート集計

出席者		一般会員	委員	計(出席率%)	ビジター	計	アンケート(提出率%)
	男	64	6	70(68.6)	0	70	
	女	7	2	9(47.4)	1	10	
計		71	8	79(65.3)	1	80	48(66.7)

2. 講演内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった
41名	7名	0名	0名

- ・今迄受講した内で最も身近で興味深い内容でした。西川先生の話しぶりも最高でした。単にこの地域
丈でなく他地区との連携を面白く拝聴しました
- ・話し方が聞きやすく、内容説明もわかりやすかった
- ・江戸時代の「大山詣」と金沢との関りについて知ることが出来た
- ・①内容が具体的でわかり易い ②話上手であきない
- ・明快で分かりやすい、古文書の解釈も適切、丁寧である
- ・身近な地域のことが具体的に話され、わかりやすかった。先生の歯切れのよい語り口がとてもよかつた
- ・平易な説明がわかりやすかった
- ・話術が良く、聞きやすい、わかりやすい
- ・地元の話で大変興味深くきかせて頂いた
- ・話し上手、説明が明解
- ・地元の事で気が入った。聞きやすく、声も大きく
- ・説明が丁寧であり、声も明瞭で判りやすい
- ・幕末、流通経路、楽しく、面白く、大変わかりやすかったです
- ・話し方が上手なので100%よく分かる。声の調子が聞きやすい、大きさも適当。新しい資料の元での発表なので興味深い。身近な地域であり仏師の流通や人の交流などだれでも関心がある内容であった、もっと聞きたい
- ・全体を通し聞きやすかった(内容も整理され)
- ・大変判りやすい講座、よく理解出来ました
- ・説明、言葉も明解でわかりやすかった。一般論ではなく地元の具体例を多く紹介頂いたのも良かった
- ・たいへん良く理解できた。身近な地域であり、興味がわいた。

- ・言語明解、簡潔でとても聞き易くよく理解できました
- ・話術が優れているので、楽しかった
- ・説明わかり易く、よく理解できた。江戸時代の交易関係、経済の成立など興味が深まった
- ・町屋の地域に占める力が良くわかった
- ・横浜・金沢の町の大きさが良くわかった
- ・町屋がこの辺りの流通の拠点とはしなかった
- ・町屋、野島が商業流通の中心地として栄えた様子が具体的に興味深く伺えた。金沢のみならず江戸、房総等広域に影響をもたらしていたことが良く理解できた
- ・金沢が流通の重要な拠点だったことは感慨深いものがある
- ・江戸時代でも流通が盛んだったと再認識した
- ・江戸湾内における交易に関して、その取扱物資、運送の具体的な状況がわかり易く解説された。交流の実体として金沢との関係が初めて理解できてよかった
- ・江戸時代の運送など詳細に亘り判りました
- ・金沢地区に於ける海運による経済の発展が詳しく理解した
- ・信州ミソ、野田、銚子の正油が金沢を経由して流通していたことは興味深く聴きました
- ・貿易の拠点として金沢が機能していたことがよく理解できた
- ・江戸時代の千葉の物質の流通機構が良く、声が大きく言葉明瞭できき易い、山本さん 仕事が良く判った
- ・幕末期の金沢流通機構が良くわかった。意外と広範囲な活動実態が理解できた
- ・金沢の流通の話、大変よかった
- ・金沢の流通の様子をわかりやすく解説していただいた
- ・江戸後期の流通を当地を中心テーマとして活写された。大変わかり易く、明快なお話しぶりもよかった
- ・流通における金沢の位置付けがよく理解できた。西川先生の明解な御講義にはいつもながら感謝申し上げます
- ・身近に感じている野島・洲崎・町やの賑やかな、したたかな暮らしが分かりました。物流の発展課程もよく分かりました
- ・非常に新鮮な話題で重要なことを具体的にお話していただいた有難かった
- ・幕末の頃の金沢の流通の様子を改めて理解。極めて分かり易い説明は小気味が良く、きき入った
- ・町屋を中心とした流通について具体的に説明いただいた

3. 西川講師に希望する講演テーマについて

- ・また 講演をお願いします
- ・金沢の流通 続編
- ・こうした地元の話我希望します
- ・何でも金沢関連付けて
- ・もっと地区の事をお願いしたいです
- ・近代史、やっていただきたいです
- ・金沢区内、軍事施設、遺構について

- ・今後も金沢藩の話を聞きたい
- ・西川氏の研究内容の中から、何か？
- ・先生のお話ならなんでも楽しく聴けるかもです。やはり、横浜開港関係が良い
- ・江戸時代の金沢；金沢八景、泥亀新田、鎌倉との関係
- ・やさしく古文書を教えて頂けると嬉しいです。(本日の様な話で充分うれしいです)

4. 学習会運営評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. 良くなかった
18名	21名	1名	1名

※チェック無し：7名

- ・スムーズであった
- ・講師、講演内容が間違っています
- ・携帯は切っておけと云うのに講演中に鳴り出し、あわてているから中々切れない
- ・朝の準備が大変そうですね。並んでいる人に声をかけ、手伝ってもらったらいかがですか。
- ・日々御苦労様です
- ・スムーズな運び

5. “わ”の会について

- ・担当皆様の連携による動きが素晴らしいと思います
- ・20周年記念の成功を祈る
- ・公開講座を通常講座にくりこんではいかがですか。費用は会費に追加すればよい



講師の西川武臣氏



講習会風景

『寺社を巡る会』活動記録 平成29年度第7回～第9回

第7回 秋の鎌倉、岩瀬と今泉を歩く

開催日 : 平成29年11月2日(木)

参加人数: 男性30名 女性6名 合計36名

コース : 大船駅東口交通広場～(バス)～白山神社前～白山神社～称名寺(開扉)～散在ケ池森林公園(昼食)～西念寺(法話拝聴)～大長寺(開扉)～大長寺前(解散)

秋晴れの中、まずはバスで白山神社へ。源頼朝が京都の鞍馬寺から毘沙門天二体のうち一体をもらい受け、安置したといわれる毘沙門堂を参拝した。毘沙門天は帝釈天に仕える四天王の一つで仏法と仏法を信じる人を守り、北方を守護する神で多聞天とも呼ばれているそうだ。神社の前の2本の樹の間に張られた長さ7m、足は太さ20cmを超える藁の注連縄はかなりユニーク、神社の守護虫である大百足を模しているといい、毎年1月8日に行われる祭りの日に氏子が藁を持ち寄って作るという。今日は11月、注連縄はさすがにくたびれていた。参道の脇に「禅宗今泉寺」という石標があった。かつては神仏混淆であり、その時代の名残らしい。

またこの地の生まれのすいきていあめのひろまる酔亀亭天廣丸というとぼけた名の江戸時代の狂歌師の歌碑があった。その名の通り酒好きであったらしく「くむ酒は 是風流の眼なり 月を見るにも 花を見るにも」とあり同じ酒好きの身には親しみを覚えた。

さて次は称名寺、弘法大師の開山と伝えられるだけに例によって弘法大師伝説がある。水の乏しいことから大師が岩肌に二つの穴を開け三日間祈禱したところ水が噴き出し男滝・女滝の二本の滝になったという。もとは円宗寺と称した密教寺院

であったが元禄6年(1693)現在の浄土宗の寺院となった。

次、散在ケ池森林公園を経て、防災広場へ。この辺りは食用ガエルとその餌として輸入されたアメリカザリガニの養殖場であった。かつての経済恐慌のあおりを受け閉鎖、田んぼになり食用ガエルとアメリカザリガニは野生化し、全国に広がり生息するようになった。

西念寺は天保7年(1836)再建された本堂と庫裡が一棟になっている「本堂庫裡合造」と言われ鎌倉では唯一の珍しい建物で二度火災にあった。平成5年(1993)の調査でその事実が証明されている。

大長寺は戦国時代の小田原北条氏二代目氏綱の養子綱成が玉縄城主としてこの辺りを治めていた時、妻の供養と国の平安を願って創建したという。4代目住職源栄は豊臣秀吉の小田原攻めの際、玉縄城主氏勝を説得、開城につなげたといわれている。北条氏建立の寺ではあるが、徳川家康との縁があり寺紋は「三つ葉葵」が用いられ、この階段は家康が籠に乗って上れるように長くしてあり、北条氏から徳川氏へと代々崇められた格式の高い寺である。(大門利晴 記)



注連縄越しの白山神社



大長寺

特別バス探訪 『多摩地区の寺社巡り』

開催日 : 平成29年11月24日(金)

参加人数 : 男性30名(内ビジター3名) 女性14名(内ビジター8名) 合計44名

コース : 金沢文庫→湾岸、中央高速→高幡不動尊 金剛寺(拝観)→深大寺(昼食)・(拝観)→大國魂神社(拝観)→武蔵野御陵(参拝)→圏央道、東名高速→金沢文庫(解散)

金沢文庫の集合場所では飲み物・つまみをどっさり積み込み予定時間通りぴったりに出発。湾岸高速の磯子付近からは富士山の7合目まで真っ白に雪をかぶった姿が眺められる。物知りバスガイドさんの説明を聞き色んな勉強しながらやがて日野市にある最初の高幡不動に到着。真言宗智山派の別格本山で正式名称は高幡山明王院金剛寺と称し本尊は不動明王である。関東三大不動の一つに挙げられ高幡不動尊として親しまれている。ここでは事前に“わ”の会会員の宮原さんの紹介で特別に案内を依頼していて、僧侶の方に大日堂と奥殿を丁寧に案内して頂いた。

奥殿に安置されている丈六の不動明王は両童子を脇侍として圧倒的な迫力を感じさせる。昔、不動堂が立っていたという塔山には紅葉が見ごろを迎えていた。

次に深大寺に移動し、まずは名物の深大寺そば定食で腹ごしらえをする。深大寺は天台宗の別格本山で正式名称は浮岳山昌楽院深大寺と号し本尊は阿彌陀如来三尊像。寺名の由来は仏法を求めてインドを旅した玄奘三蔵を守護したとされる「しんしゃたいおう深沙大王」から名付けられた深沙大王寺が縮って深大寺になったとされる。釈迦堂には今年3

月に国宝に指定された東日本最古の白鳳仏である釈迦如来像が特別拝観中であった。この像はこの時期の傑作である奈良県新薬師寺薬師如来立像(香薬師)、法隆寺観音菩薩立像(夢違観音)と共に「白鳳三仏」と称されている。今回はこのうちの香薬師像、やはり白鳳期の兵庫県鶴林寺の聖観音像の三像が一度に拝観できた。この時代独特の柔らかな表情に心を和ませて頂いた。

次に府中市の中心地にある大國魂神社に参拝した。ここは武蔵国の総社で、一宮から六宮までを合わせてお祀りしており、ご祭神は大國魂大神で出雲大社のご祭神の大國主神と同神とされる。

最後は武蔵野御陵に移動。ここは八王子市にある皇室の墓地で、武蔵陵墓地が正式名称。この御陵には大正天皇、貞明皇后、昭和天皇、香淳皇后の4陵が造営されている。杉並木に囲まれ美しい玉砂利を踏みながら秋の夕日に照らされる紅葉を見ながら各陵を参拝した。昭和天皇が愛されたというメタセコイヤ3本が大きく育っていて黄色の葉を輝かせていた。ここを後に沢山の観光客が見られる高尾山のそばを通過して高速道路で一路金沢文庫に向けて帰路についた。

(吉田寿紀 記)



高幡不動尊 大日堂玄関



大國魂神社 (三の酉準備中の隋神門)

第8回 紅葉と黄葉、北鎌倉から亀ヶ谷坂を歩く

開催日 : 平成29年12月2日(土)

参加人数 : 男性27名(内ビジター1名) 女性7名(内ビジター4名) 合計34名

コース : 北鎌倉駅→明月院→長寿寺(限定公開中拝観)→海蔵寺→源氏山公園(昼食)→英勝寺(仏殿・祠堂・六代墓所特別参拝)→寿福寺山門前(解散)

JR北鎌倉駅西口に集合したのち、赤や黄色に色づいた木々を眺めながら、アジサイ寺として有名な明月院へ。「深谷上杉氏ゆかりの寺」の石碑を右手に山門をくぐる。本堂前では、丸窓「悟りの窓」からの景色を撮る観光客などで賑わっていた。左手に枯山水庭園を見て、開山の密室守殿像が安置されている茅葺き屋根の宗猷堂を詣で、鎌倉最大級のやぐらへ。やぐらの奥の壁には釈迦如来・多宝如来等の浮き彫りの像が見られた。次は長寿寺へ。山門左手には目がつり上がってユーモアを感じる蓮の上に乗った地藏様、右手には石塔を背負った鬘負(中国の架空の動物)に迎えられ山門に入る。

長寿寺は ※紅葉とアジサイの時期に週末限定公開※ というのもあってか、他の寺院にはない独特の雰囲気を感じる。本堂の釈迦如来像を拝観、方丈の間から石・苔・紅葉など調和のとれた庭園を眺め、観音堂、そして当山創建者である足利尊氏の遺髪が埋葬されているという裏山の墓所を詣でる。

次は鎌倉七切通しの一つである亀ヶ谷坂を越え、途中、岩船地藏堂を右手に海蔵寺を訪ねる。本尊は薬師如来像で俗称「啼薬師」といわれ、胎内に土中から発掘された木造の仏面が納めら

れている。薬師堂脇を進むと、弘法大師が掘ったといわれる「十六ノ井」、山門右手の「底脱ノ井」をたどりながら源翁禅師と殺生石の伝説を聞く。又、季節の草花や山野草が咲く、花の寺としても有名である。

その後、急坂の化粧坂を登り源氏山公園へ。暖かな日差しのもと昼食を済ませ、下り坂の途中にある太田道灌の首塚を経て、寿福寺の墓所から境内を抜け、鎌倉唯一の尼寺英勝寺へ。境内は太田道灌公の屋敷跡と云う。今回は鎌倉ガイド協会の配慮により、非公開の江戸初期の名建築、宝珠殿と呼ばれる仏殿に入り、阿弥陀三尊像(運慶作と伝わる)・極彩色の天井絵(龍・天女など)を拝観することが出来た。続いて、庭内の尼寺ならではの袴腰鐘楼・光圀の建立した祠堂・唐門を拝観後、竹林などを散策。

開基の英勝院尼は太田道灌四代目康資の息女、徳川家康に仕えて「お梶」～「お勝」と名を賜り、その後水戸頼房の養母となり家康公亡き後出家し、家光公より賜った父祖の地に英勝寺を創建。頼房の息女小良姫を開山第一祖に迎え、以来水戸家によって維持されていたが、現在は(大正八年以降)東京青山善光寺から住職を招請し、今日に及んでいるという。(近藤健 記)



海蔵寺(薬師堂の薬師三尊像)



英勝寺山門

第9回 藤沢で招福祈願、鎌倉ゆかりの古刹と古社を訪ねる

開催日：平成30年1月12日（金）

参加人数：男性28名 女性7名 合計35名

コース：大船駅西口バス停＝山王神社前バス停⇒感応院⇒諏訪神社⇒常光寺⇒白旗神社
⇒御殿辺公園（昼食）⇒養命寺⇒皇大神宮（正式祈願）⇒藤沢駅

平成30年度の初活動は晴天に恵まれて大変良い七福神巡りになった。源実朝が開いた感応院では寿老人、寿老人は南極星の化身と云われる中国道教の老僧の分身で、長寿延命、富貴繁栄、身体健全、諸病平癒と多岐にわたるご利益がある。

遊行寺の吞海上人勧請の諏訪神社では大黒天、大黒天はインドでは「破壊の神」で恐ろしい神であったが、日本では人々に官位や財宝、特に「山の幸」を恵む優しい神に変わり、二俵の米俵の上に座した像を寺の台所に安置するようになり、商売繁盛で福の神として信仰される。



諏訪神社拝殿

元亀三年（1572）創建の常光寺では福祿寿、背丈が低く、頭が長く、足が短く、白髪をたくわえ経巻を結んだ杖を持ち、多くは鶴を伴っている。「福（子孫繁栄）」「祿（財産）」「寿（健康長寿）」の三徳を備える。



福祿寿

白旗神社では福德の神の毘沙門天である。この神社は相模国一ノ宮寒川神社から勧請されたが、宝治三年（1249）義経の首がこの地に葬られ、義経が



白旗神社拝殿

祭神として合祀された。全国の白旗神社では、頼朝が祀られることが多く、義経を祀る神社は珍しい。

延文年間（1356～61）創建の養命寺では布袋尊、布袋和尚と呼ばれるようになったのは、日頃手に杖を持ち、大きな袋を背負って方々を放浪していたことによる。弥勒菩薩の化身とも云われている。福運をもたらす神と称えられている。



布袋尊

恵比寿を祀る皇大神宮で一年の幸せを願い参加者全員が祈願を受けた。鎌倉権五郎景政がその所領大庭荘を開拓し、伊勢神宮に寄進したことから「大庭御厨」と呼ばれるようになり、大庭御厨の総鎮守として尊崇を集めた。8月17日の例祭には、藤沢市の有形民俗文化財に指定されている人形山車9基が出て賑わい、そして、藤沢市の無形民俗文化財に指定されている「湯立神楽」が奉納される。



恵比寿

参詣にはご朱印帳ならぬスタンプラリー用の配布を受け参詣した印に皆スタンプを押し記念とした。
(清水孝照 記)



皇大神宮で祈禱を受ける

『多摩地区の寺社巡り』

定刻7時30分参加者44名を乗せたバスは目的地に向け出発しました。冒頭、吉田代表が挨拶の中で、三年連続でよい天気恵まれたと話された。そのとおり、高速道路に出てまもなく富士山が姿を現し、さらに遠く南アルプスの稜線が、遠望できるなど幸先のよい旅立ちとなりました。都内に入り、高速道路のトンネルとして世界一長い「山手トンネル(18.2km)」を抜け、再び姿を現した富士山を眺め、ガイドさんが話す野暮天の語源などを聞きながら、程なく最初の訪問先高幡不動に到着しました。

高幡不動は清和天皇の勅願によって当地を関東の霊場と定め、不動明王を祀ったのが始まりで、1,100年以上歴史のある古刹です。最初に目にしたのは、まばゆいばかりの五重塔。お寺の方に案内され、土方歳三像から始まり、堂内・境内を拝観しました。古来日本一の不動明王像と称される、童子を両脇に従えた丈六不動明王の姿は圧巻(総重量は1トンを超えるそうです)。秘仏の歓喜天は厨子の中におわし、尊像の拝観は叶いませんでした。大日堂の鳴り竜は、なかなか気むすかしいようで、妙音が発せられたかどうかわかりませんでした。立派な仁王門、背後の小高い丘は深い緑、その中に紅葉が



高幡不動尊五重塔

ちりばめられ初冬の情景、境内には七五三を祝う姿も見られ多くの参拝者で賑わっていました。

次の訪問先深大寺は、清い水が湧く当地に、水の神「深沙大王」を祀る深沙大王寺が奈良時代に

建立され、後に深大寺となったとされる古刹です。到着後、名物深大寺そばの昼食。この地は稲作が不適であり、代替としてそばが耕作され、それが深大寺の隆盛とともに名物となったもので、今日も多くそば屋が連なっています。そばが出るまでやや間合いがあったが、やはり名物のそば、名を汚さない味を堪能しました。食後記念撮影、古刹として由緒ある山門前は全員集合するには狭く不適當なため、本堂前で撮影された。今年国宝に指定された釈迦如来像を間近で拝観させていただき、紅葉が見頃の境内を散策後、参拝者が多い割には静かで深い木立に囲まれた深大寺を後に次の訪問先大國魂神社に向かいました。途中甲州街道の黄色くなった銀杏並木は見事でした。



深大寺本堂

武蔵国の総社である、大國魂神社は景行天皇41年(111)に武蔵国の守り神として大國魂神を祀ったのが始まりとされ、その後当地に武蔵国国府が置かれ国内祭祀の中心となった由緒ある神社です。広い境内には多くの大木が植えられ(神社仏閣によく植えられている松はないそうです)、多くの末社を両側に配し、2,000年近く当地にあり移りゆく時



大國魂神社拝殿

「懐かしの映画を観る会」

鑑賞録 No.25

代表 佐藤 晃

平成 29年度第 15 回 鑑賞会

〈鑑賞日：2017・11・6〉

波 止 場

製作： 1954 年 米国 上映時間 107 分
監督： エリア・カザン
出演： マーロン・ブランド、エヴァ・マリー・セイント
受賞： 1954 年アカデミー「作品」、「監督」、「主演男優」、
「助演女優」賞等 8 部門受賞、昭和 29 年キネマ旬報第 4 位

（あらすじ）

ボクサーくすれのテリー〔M・ブランド〕は
沖仲士を牛耳るポスのジョニー〔リー・ジ
ー・コップ〕の配下だった。ある日テリーは
兄のチャーリー〔ロッド・スタイガー〕がポ
スの指示で仲間の一人を殺すのを目撃して
しまう。被害者の妹のイデイ〔エヴァ・マリ

ー・セイント〕の嘆く姿に心を動かされて、
テリーは波止場の神父に真相を告白。しかし
ジョニーはチャーリーも殺害。テリーは意を
決して法廷に立ち、ジョニーの犯罪を証言す
る。

（解 説）

1948 年、ニューヨークのサン紙の記者が
港湾労働者の実態を記事にし、この記事をも
とにエリア・カザンが映画化した。港湾労働
者社会のギャング支配による不正を告発す
るこの作品は、初めハリウッドのプロデュー
サーの理解を得られず、映画化は難航したが、
後に「アラビアのロレンス」のプロデュー
サー、サム・スピーゲルが名乗りを挙げた。撮
影はニューヨーク港を中心としてオールロ
ケーションで行はれ、まるでドキュメンタリ
ー映画のような映像がくりひろげられる。カ
ザンの主宰するアクターズスタジオ出身の
役者たちの巧みな演技、さらにレナード・バ
ーンスタインの緊張感ある音楽も物語の世
界を深めている。

エリア・カザンは 2003 年 93 歳で他界した。
トルコからの移民という劣等感から 25 歳
で共産党に入党したが、第二次大戦後、
1952 年非米活動委員会による「赤狩り」
の聴聞会で国家への忠誠を誓って、かつての
仲間の名前を公表し、人々の反感を買った。
この汚名は死ぬまで続いたという。この映画
のテリーの証言の場面は、カザンの自己弁護
だったといわれている。

マーロン・ブランドは当時 29 歳。波止場か
ら悪の一味を追求する立場に転ずる孤独な
男を演じて 1954 年アカデミー主演男優賞
を受賞している。この作品は「作品」、「監
督」、「助演女優」、など合計 8 部門のアカデ
ミー賞を受賞している。

平成 29 年度第 16 回 鑑賞会

〈鑑賞日：2017・11・13〉

日本のいちばん長い日

製作：2015 年 製作委員会

上映時間：136 分

監督：原田真人

原作：半藤一利

出演：本木雅弘（昭和天皇）、山崎努（内閣総理大臣鈴木貴太郎）、役所広司（阿南惟幾陸軍大臣）、中嶋しゅう（東條英樹）、堤真一（迫水久常内閣書記官長）
中村育二（米内光政海軍大臣）松坂桃李（田中少佐）松山ケンイチ（佐々木警備隊長）

（あらすじ）

連合国からのポツダム宣言を受諾するかについては日本政府部内では連日のように会議が開かれていた。そうした状況の中で、広島、長崎に原爆が落とされ、ソ連も参戦する。連合国へのポツダム宣言を受諾するか否かの回答は一刻も猶予も許されなかった。政府部内では受諾派が大勢を占めるが、陸軍では、若手将校を中心とする本土決戦を主張する者も多く、閣議

は紛糾し陛下の御聖断を仰ぐことで落ち着いた。そして、陛下の御聖断によって受諾が決定され、これに陸軍内部は猛反発する。急進派の畑中少佐（松坂桃李）、椎崎中佐（田島俊弥）をはじめとする何人かはクーデターを計画する。若手将校たちは宮城を占拠し、陛下の録音盤を奪取せんと試みるが失敗し、いわゆる「宮城事件」は不発に終わった・・・

（解説）

2015 年、戦後 70 周年を記念して作られた映画である。その 50 年前、1965 年に岡本喜八監督が戦後 20 周年記念映画を作っているので、実に 50 年ぶりの終戦映画である。今回の映画のメガホンを執ったのは日本映画界の俊才原田真人（1949～）。かねてから、70 周年記念映画は自分が撮るのだと自負しており、シナリオも自分が書き、周到な準備をしていたという。原田は本映画を家族のドラマとし、100 人を超す登場人物から、鈴木貴太郎総理、阿南惟幾陸軍大臣の二人を選んだ。総理になる山崎努、阿南を演じる役所広司はまさに余人をもっては代えがたい人選で、両者の昭和天皇へ

の思いが人間天皇への思いと重なり濃密な人間関係を構築している。阿南の娘の結婚式の会場探しを心配する陛下の温情などそうした場面はいくつも見かける。70 年前の映画と今回の映画が大きく変わっているのは昭和天皇の扱い方であろう。前作では、昭和天皇は松本幸四郎が演じたが、幸四郎の名はポスターには『特別出演』として役名を伏せてクレジットされ、映画の中でも天皇は遠景や、後ろ姿、手元のアップでしか描かれず、生身の天皇を描くことは、はばかられ、また、恐れ多い時代だったのである。戦後 70 年の歴史の変化はたしかに天皇の方から国民に近付いたのである。

平成 29 年度第 17 回 鑑賞会

〈鑑賞日：2017・12・11〉

ゴッドファーザー PART III

製作：1990年 米国 上映時間：170分
監督：ジフランシス・フォード・コッポラ
脚本：マリオ・プーソ フランシス・フォード・コッポラ
出演：アル・パチーノ ダイアン・キートン アンディ・ガルシア
タリア・シャイア イーライ・ウォラック ソフィア・コッポラ
音楽：ニーノ・ロータ カーミン・コッポラ

(あらすじ)

60代になったマイケルにとって、気がかりは二つあった。それは、一家を犯罪ビジネスから解き放つ事。そして適切な継承者を見つける事だった。継承者の候補として上がったのは、血の気の多いビンセント(マイケルの兄ソニーの

愛人の息子)。しかし彼の存在は合法ビジネスを目指すマイケルの願いを、マフィアの血と暴力の抗争へと導きかねなかった。

マイケルの懺悔と苦悩、弱さを中心に展開、さて最終章へは如何に・・・

(解説)

当初のタイトルが『マイケル・コルレオーネの死』と予定されていた様に(パラマウントが却下)、本作は3部作の最終作ではなく、前2部作に対する後日談として位置づけられている。マフィアとイタリア政界、バチカンの不明朗な関係と腐敗が巻き起こしたスキャンダルをほぼそのまま内容を取り込むことであからさま

に批判したことや、衰えたマイケルの懺悔や苦悩ばかりに焦点を当てた内容が災いし、アカデミー賞には作品賞他6部門でノミネートされながら結局受賞に至らなかった。

コッポラは後に「私自身を満足させたがために、観客の期待を裏切る結果になった」と弁解している。

興行成績	製作費	興行収入	日本
ゴッドファーザー (1972 公開)	\$6,000,000	\$245,066,000	
ゴッドファーザーⅡ (1974 公開)	\$13,000,000	\$193,000,000	8.2 億円
ゴッドファーザーⅢ	\$54,000,000	\$136,766,062	13.0 億円

(登場人物)

マイケル・"マイク" コルレオーネ：アル・パチーノ
ケイ・アダムス・マイケルソン(マイケルの離婚した妻)：ダイアン・キートン
ヴィンセント・マンシーニ：アンディ・ガルシア
メアリー・コルレオーネ：ソフィア・コッポラ
ドン・アルトベッコ(マイケルの対立マフィア)：イーライ・ウォラック
ギルデイ大司教(バチカン銀行総裁)：ドナル・ドネリー
ランベルト枢機卿(法皇に選出されるが毒殺される)：ラフ・ヴァローネ

平成 29 年度第 18 回 鑑賞会

<鑑賞日：2017・12・25>

ソフィーの選択

製作：1982 年 米国 上映時間：151 分
監督：アラン・J・パクラ
原作：ウィリアム・スタイロン(1979年) ピューリッツァー賞受賞
脚本：アラン・J・パクラ
出演：メリル・ストリープ ケヴィン・クライン ピーター・マクニコル
音楽：マーヴィン・ハムリッシュ

(あらすじ)

1947年。アメリカ南部の田舎町からブルックリンにやって来た作家志望の青年・スティンゴ(ピーター・マクニコル)は、ホロコーストから生還したソフィー(メリル・ストリープ)というユダヤ系女性と知り合う。彼女には決して誰にも語る事の出来ない“悲しみの選択”を迫

られた暗い過去があった。そんなソフィーはネイサン(ケヴィン・クライン)という自由奔放なユダヤ系アメリカ人と暮らしていた。やがて3人は親しくなり、愛と友情に満ちた不思議な関係を築いていくが、ある日ソフィーとネイサンは“衝撃の選択”を実行する・・・

(解説)

アカデミー賞&ゴールデングローブ賞 主演女優賞受賞 33才の頃の出演
興行収入 \$30,036,000
アウシュビッツでのホロコーストを生き延びたソフィー、少年の頃は神童と言われたが、そ

の後妄想性分裂症を患うネイサン、作家志望で自分探しの旅の途中の青年スティンゴ(綽名)3人の奇妙な関係。
真実とは？

【メリル・ストリープ】(1949年～ 68才)

絶対音感の持ち主で、訛りの女王と言われている。

アカデミー賞 主演女優賞

「ソフィーの選択」

第55回 1983年

「マーガレット・サッチャー鉄の女の涙」

第84回 2012年

助演女優賞

「クレイマー、クレイマー」

第52回 1979年

他に ベルリン国際映画祭、カンヌ国際映画祭、英国アカデミー賞、多数受賞

アカデミー賞 : 18回ノミネート 受賞3回

ゴールデングローブ賞: 27回ノミネート 受賞8回

※キャサリン・ハップバーン 主演女優賞を4回受賞

平成 29 年度第 19 回 鑑賞会

〈鑑賞日：2018・1・8〉

初恋のきた道

製作：1999 年 中国 上映時間：89 分

監督：チャン・イーモウ

原作：パオ・シー 脚本：パオ・シー

出演：チャン・ツーイー(若き日の母)、チャン・ハオ(若き日の父)、スン・ホウレイ(私)

(あらすじ)

父の訃報を聞いた私は母の暮らす故郷の村に戻った。母は父が亡くなった病院から村まで棺を担いで戻るといつてきかない。母が村人や私の説得に頑として耳を貸さない理由は若き日にあった「ある出来事」にあった。

今から 40 年近く前、母が 18 歳のとき貧しい村にも初めて学校ができ、町から 20 歳の若い先生が赴任してきた。母は一目でその先生が好きになり、先生のために一生懸命料理を作りもてなした。やがてその想いが先生にも伝わったが、当時吹き荒れていた反右派闘争の嫌疑で先生は突如、町に連

行されていった。母は先生が好物といった料理を持って必死に先生を追いかけたが追いつけず、さらに先生からもらった大事な髪留めをも紛失してしまった。失意の母は先生が村に戻ってくると約束した日、決死の思いで「あの道」で先生を待たしたが先生に会えず寒さの中で気を失った。幸い通行人に救助された母は約束を守った先生に再会、2 年後に二人は結婚した。

父の遺体は母の願い通り、教え子の協力のもと多数の村人に担がれ「あの道」を通過して学校の横に埋葬された。

(解説)

この作品は、中国映画界を代表するチャン・イーモウが監督し、その後国際的スターになったチャン・ツーイーのデビュー作である。

時代は 1958 年。場所は華北の山村。現在（撮影のころ：1990 年代後半）と過去（1958 年当時）が、カラー（過去）とモノクロ（現在）で色分けされており、わかりやすい構成となっている。

日本の紅葉を思わせる華北の山村の美しい風景、心に残るサン・パオの音楽が愛らしく初々しいチ

ャン・ツーイーの姿と相俟って、観る者の心を洗い目頭を熱くさせる名作に仕上がっている。

【参考】

チャン・イーモウ監督の「しあわせ三部作」
あの子を探して：1999 年、ベネチア国際映画賞
グランプリ受賞
初恋の来た道：1999 年、ベルリン国際映画賞
ランプリ受賞
至福の時：2000 年

平成 29 年度第 20 回 鑑賞会

〈鑑賞日：2018・1・22〉

恋におちて

製作：1984 年 米国 上映時間：106 分
監督：ウール・グロスバード 脚本：マイケル・クリストファー
出演：ロバート・デ・ニーロ(フランク) メリル・ストリーブ(モリー)
シェーン・カツマレク(アン：フランクの妻)
デビッド・クレノン(ブライアン：モリーの夫)
ハーヴェイ・カイテル(エド) ダイアン・ウィースト(イザベル)
音楽：ディブ・グルーシン

(あらすじ)

クリスマスが間近に迫る忙しいニューヨークでフランクとモリーは偶然出会う。お互いのパートナーへのクリスマス・プレゼントを間違えて持ち帰ってしまったのだ。そして2度目の偶然の出会いが、二人を急速に接近させる。互いに強く惹かれあう二人、だが一つだけ問題があった。それは二人ともすでに結婚しているということ・・・

いが、二人を急速に接近させる。互いに強く惹かれあう二人、だが一つだけ問題があった。それは二人ともすでに結婚しているということ・・・

(解説)

いくつになっても変わる事のない恋愛感情をアカデミー賞を何度も受賞した当代を代表する名優のロバート・デ・ニーロとメリル・ストリーブの共演で描いた大人の純愛(不倫)映画。おしゃれで上品なニューヨーカーの生活ぶりを生かし、それでいて“十代の恋”の様な切ない感覚を思い起

こさせる素晴らしい演出が雰囲気盛り上げる中、二人の演技が実に自然なムードで展開するロマンチックな大人の恋愛作品。デ・ニーロの普通の“おじさん” ぽい姿やストリーブの柔らかな美しさもいい。二人の共演はディア・ハンター以来6年振り。

【ロバート・デ・ニーロ】(1943年8月 ~74才)

アメリカ合衆国の俳優、映画監督。

アカデミー賞 主演男優賞 「レイジング・ブル」 第53回 1981年

助演男優賞 「ゴッドファーザーⅡ」 第47回 1975年

撮影の前に徹底した役作りを行う事で有名。例えばゴッドファーザーⅡではシチリアへ出向きイタリア語をマスター、レイジング・ブルでは鍛え上げたボクサー役を演じ、その後の老いた主人公を演じるために体重を20Kg増やした等、数限り無い。この様な徹底した役作りはデニーロ・アプローチと呼ばれ、彼の代名詞となった。

【メリル・ストリーブ】(1949年6月 ~68才)

アカデミー賞 主演女優賞

「ソフィーの選択」 第55回 1983年

「マーガレット・サッチャー鉄の女の涙」 第84回 2012年

助演女優賞 「クレイマー、クレイマー」 第52回 1979年

「ふれあいの道歩こう会」実施概要 No.20

代表 江口 正彦

独自コース53番「明星ヶ岳～明神ヶ岳から大雄山」(通算135回)

今回は、宮城野橋から明星ヶ岳に登り、金時山へ至る箱根山の外輪山の一部を縦走し明神ヶ岳に至り、南足柄市の大雄山最乗寺に下りるコースです。箱根外輪山の中では穏やかな山容を誇る明星ヶ岳(大文字山)の山頂からは、強羅や宮城野が一望に見渡せます。明神ヶ岳への尾根道は眺めも最高で眺望がすばらしかった。最乗寺への下りは、Vの字の様に掘れた悪路であったが素晴らしい紅葉があり、そのあとは美しいススキ越しに相模湾、丹沢を眺めながら最乗寺に下りました。最乗寺でも紅葉は染まり始めていました。

実施日：平成29年11月16日 天候：晴れ

歩行距離など：歩行時間 約5時間 歩行距離 約9km 参加者：18名(男性11名 女性7名)

コース所在地：神奈川県箱根町、南足柄市

交通：往路：京急：金沢文庫 5:26 発→5:41 着 横浜 5:48 発(JR 東海道本線)→6:42 着小田原
バス：小田原駅東口 6:55 発(箱根登山バス 桃源台行)→7:29 着 宮城野橋

復路：道了尊バス停 16:04 発(伊豆箱根バス 伊豆箱根鉄道大雄山駅行)→16:18 着 大雄山駅
16:26 発→16:47 着 小田原

コースと時間：宮城野橋バス停 7:30→7:50 着 明星ヶ岳登山口(集合場所) [準備体操] 8:00 発→9:00 着 大文字焼「大」文字部 9:10 発→9:25 尾根(荷を置き)→9:30 着 明星ヶ岳 9:35 発→尾根 9:40～9:50[オレンジタイム]→宮城野分岐 10:35→11:30 着 明神ヶ岳[昼食]12:05 発→神明水 13:20→13:40 着 見晴小屋[コーヒータイム]13:55 発→15:10 着大雄山最乗寺(相生橋)、(各自)最乗寺見学 15:10～16:00、16:00 道了尊バス停で解散

ご存じでしょうか！ 最乗寺の天狗伝説

大雄山最乗寺を開山した了庵慧明禅師は、現在の神奈川県伊勢原市の生まれです。禅師は50歳半ばに能登の総持寺から相模の国に帰ると、ある日、1羽の大きな鷲が禅師の袈裟をつかんで足柄山へと飛んで行き、大きな松の枝に掛けて飛び去るということが起きました。

禅師はこれを奇瑞として、この足柄の山中に最乗寺を建立します。

そのとき了庵慧明禅師のもとに参じて、不思議な力を発揮し大寺の建立に尽くしたのが、修験道の行者であった「道了大薩埵(どうりょうだいさった)＝道了尊」という人です。1411年に了庵慧明禅師が亡くなると、道了尊は「これからは山の中であって大雄山を護り、多くの人々を救う」と五大請願文を唱え、天狗となって山中へと身を隠しました。

その姿は烏天狗の顔を持って白狐の上に乗れ、右手に降魔の輪杖を持ち左手に縛魔の剛縄を握り、火焰を背にすると言いますから、天狗を使役するという「飯綱大権現」の姿とほぼ同じです。ですから道了尊は別名「道了大権現」とも呼ばれ、また「十一面観音」の化身とも言われています。

冬紅葉愛でて辿るや最乗寺 一椀



明神ヶ岳頂上



尾根道からの富士山

独自コース 54 番「仙元山から嵐山溪谷」 (通算 136 回)

東武東上線の小川町駅(小京都)から百庚申を過ぎ仙元山、青山城趾、大日山、物見山などの外秩父の低山を登り小倉城趾(北条氏初期の譜代家臣遠山氏)に、そこから紅葉の残っている嵐山溪谷に行きました。小倉城趾は全山石垣に近い城で、このような城は少ないようです。小川町は外秩父の山に囲まれた小川盆地に市街地があり、その地勢から「武蔵の小京都」の異名を持ち、伝統工芸の和紙で知られる。また、嵐山溪谷の地名は京都の嵐山あらしやまに似ているのでついたそうである。嵐山町は国蝶オオムラサキが生息していることでも有名です。大日山からは秩父の武甲山がはっきり見ることが出来ました。

実施日：平成 29 年 12 月 18 日 天候：快晴

歩行距離など：歩行時間 約 5 時間 歩行距離 約 9.5km 参加者：21 名(男性 14 名 女性 7 名)

コース所在地：埼玉県小川町・嵐山町

交通：往路：東急東横線 横浜駅 6：56 発 [通勤特急 森林公園行]→森林公園駅 8：51 着東武東上線に乗換、同じホームから 8：59 発 [急行 小川町行]→小川町駅 9：11 着

復路：休養地入口バス停 15:21 発→15:35 着武蔵嵐山駅 15:46 発 →15:51 着森林公園駅 16:08 発→横浜 18:08 着。

コースと時間：小川町駅 9：20 スタート～仙元山登山道入り口 10:00 (体操)～仙元山 10：40 着～青山城趾 11：10 着、～大日山 11：40 着(昼食 30 分)12：10 発～物見山 12：25 着～小倉城跡 13：30 着 (オレンジ)～駐車場(トイレ)13：45 着～溪谷展望台 14：25 着～冠水橋 14：30 着～飛び石 14：45 着～バーベキュー場 14:50 着(コーヒー)。休養地入口バス停で解散。

ご存じでしょうか！ 細川紙(小川和紙)

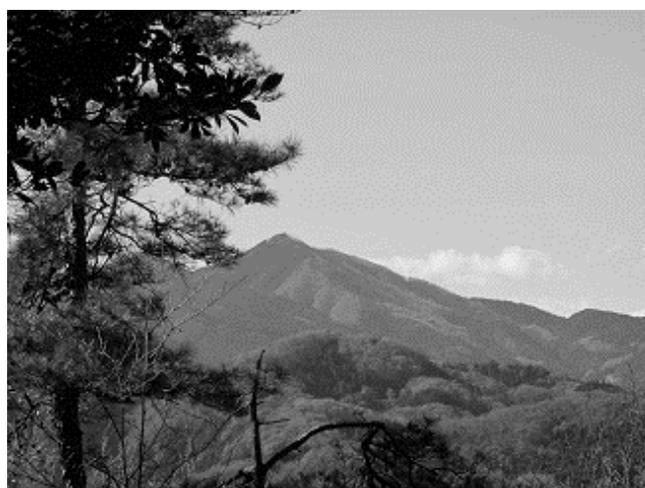
細川紙は、楮(こうぞ)のみを原料とした伝統的な手漉き和紙で、現在は小川町と東秩父村で传承されています。小川町、東秩父村周辺は、古くから和紙の一大産地で、その製品は「小川和紙」として広く知られております。中でも「細川紙」は、なぜ細川紙というかということ、武蔵国では古代から紙がすかれていましたが、江戸時代に紀州高野山麓の細川村ですかれた細川奉書の製作技術がこの地域に伝えられたためと言われておりますが、国内産のコウゾのみを使用した流しすきで製作され、伝統的な製法と風合いを持った丈夫な和紙であり、その技術は国の重要無形文化財に指定されております。今回、1,300 年と伝わる先人の努力で传承されてきた紙すき技術がユネスコ無形文化遺産に登録された。

小川町周辺では伝統的な製法の細川紙をはじめ多くの和紙が生産され、それらは総称して小川和紙とよばれる。

嵐山らんざんやしばし見入る冬紅葉 一椀



嵐山溪谷槻川の飛び石で



大日山からの武甲山

独自コース 55 番「矢筈山(810m)」 (通算 137 回)

伊豆の矢筈山に登りました。伊豆東部火山群の矢筈山と孔の山は粘り気の強い流れにくい溶岩が火口の周りに盛り上がって出来た溶岩ドームの山で 2700 万年前の割れ目噴火で作られた。このドームは富士箱根伊豆国立公園の特別保護区に含まれており、矢筈山はこの形からげんこつ山と呼ばれている。「矢筈」とは、弓矢で射る際、矢を弦に引っ掛けるお尻の凹みのこと。この山の頂上部分が英字の M のように小さな双頭峰になっていて、その矢筈のように見えるからだそうです。矢筈山は、踏み跡などがなくコースが判りづらいため先人がつけた赤テープと山頂の標識を目印に、帰りのために新たに赤テープを付けながら慎重に登った。また下りも赤テープなどを目印に下山したので無事鹿路庭峠(登山口)に着きました。

実施日：平成 30 年 1 月 18 日 天候：曇り(霧)

歩行距離など：歩行時間 約 6 時間 10 分 歩行距離 約 8.3km 参加者：19 名(男性 13 名 女性 6 名)

コース所在地：静岡県伊東市

交通：往路：(JR 東海道本線)横浜 7:00 発→(戸塚 7:10→大船 7:15→) 8:20 着 熱海

(JR 伊東線) 8:24 発→ 8:47 着 伊東

タクシー：伊東駅前 8:55 発→9:20 着 鹿路庭峠(矢筈山登山口)

復路：(バス:伊豆東海バス) シャボテン公園 15:11 発→15:55 着 伊東駅

(JR 伊東線・東海道本線) 伊東 16:10 発→(熱海乗換)→18:03 着 横浜

コースと時間：鹿路庭峠(登山口) 9:20 着 [準備体操 後] 9:35 発→一つ目の窪地→孔の山山腹→11:28

着 矢筈山山頂 [昼食 11:30~12:00] 矢筈山山頂 12:00 発→(登りコースと同じコースを下る)→一つ目の窪地 [オレンジタイム 13:22~13:40]→14:00 着 鹿路庭峠

14:05 発→(遠笠山道路・さくらの里公園)→15:10 着 伊豆シャボテン公園(バス停)

ご存じでしょうか！ 矢筈山(溶岩ドーム)と大室山(スコリア丘)の違い

溶岩ドームまたは溶岩円頂丘とは、火山から粘土の高い水飴状の溶岩が押し出されてできた、ほぼドーム状の地形である。上空からはおおよそ円形に見え、地上から見ると土饅頭、あるいは円墳のような外観を成した隆起を成す。

溶岩ドームを構成する火山岩は、玄武岩から流紋岩まで変化に富むが、現在まで保たれている大抵の溶岩ドームは二酸化ケイ素(シリカ)を高い含有比で含んでいる。特徴的なドーム状の姿形は、マグマが長距離を流れるのを邪魔する非常に高い粘性のおかげである。

スコリア丘は、玄武岩質から安山岩質のマグマによる噴火活動により地表面にスコリア(岩滓。マグマが吹き上げられて飛散冷却してできる岩塊で、多孔質で黒っぽいもの)が放出され、火口の周りに積もって崖錐斜面をつくり、円錐台形の山を成したものを指す。小規模な火山の一種である。「噴石丘」とも言う。スコリア丘を形成する火山活動は、主に玄武岩から安山岩によるもので、そのほとんどは一度の活動によってできた単成火山であり、規模は小さい。

寒さくら大室山背ほころびて 一椀



下りの岩場の窪みで



ススキに覆われた大室山

「浮雲俳句会」

抄録 No.40

代表 北野 清市

20回金沢区民俳句大会吟行会への参加 平成29年10月29日

台風の影響を受けた生憎の吟行大会であった。大会ではご当地俳句の一層の作成方についてお願いした。結果的には出句 50 句中、28 句（全体の 58%）を占め極めて喜ばしい状況が継続しているこのようななか特記すべきは、わが浮雲俳句会に関係するメンバーの活躍であって、当該区民吟行大会における天地人賞の総てを獲得するという快挙の中に大会を終了した。

天賞

秋霖に^{やぎ}山羊は^た聖者の貌で佇つ なにわ

作者の感動がビシビシ伝わって来る肺活量の大きな写生句。いつも見て来て毎回また次回詠もうと盪回しにしてきた景を見事に〈聖者の貌で佇つ〉と表記した力量は抜群。折柄の雨の中高い岩山からまるで聖者のように四方を圧して佇つているのだ。臨場感に溢れた囁目吟だ。

地賞

水の^{いろは}谷色葉ちりぬる草書体 結女

書体の成り立ちを大自然のうつろいに求めたユニークな佳句。書体には、楷書（かいしょ）・行書・草書・篆書（てんしょ）・隷書の漢字の書き方がある。このうち〈草書〉は、楷書と行書を少しづつくずした書体の一つである。そしてこの〈草書体〉は、水の溢れるようにある〈水の谷〉に、丁度〈色葉ちりぬる〉秋の紅葉が散るような字の描き方であると言っている。まさにユニークな発想につくづく感心するのみだ。

人賞

秋思かな空見て潤む手長猿 とも女

金沢動物園の人気者＝〈手長猿〉にアタックした写生句。〈手長猿〉は類人猿の一つで霊長目テナガザル科の獣。体調約 70 cm、前足が殊に長く動作がすばやい。もともとはインド・マレー地方の森林に生活していたものである。この〈手長猿〉!!。折柄の秋雨のせいかな。生まれた故郷を思い出したのか。〈空見て〉〈秋思〉に耽っているのだ。いづれにせよ、天地人賞総てを獲得したことはまさしく喜びの極みである。

〔秀作〕

天賞

革ジャンを粋に着こなす准教授 勇 平

時代の変貌を服装からアプローチした秀吟。昔の大学の教授は慇懃無礼な真面目ないわゆる学者タイプが多く、その服装も右へ倣への着用が一般的であった。ところが今はいろんなタイプをした教授が混在。例えば流行の先端をゆく〈革ジャン〉を〈粋に着こなす〉〈准教授〉などが増えている。掲句はこのような傾向を巧みにキャッチし、時代の変化を服装からアピールした秀作である。

地賞

友^{ほう}耄け無情を知るや冬の月 重 九

友人の認知症を嘆いている佳吟。高齢者の認知症が急速に増加。2015年の525万人(人口の4.4%)から10年後には730万(人口の6%)に増加するだろうと発表されている。その認知症!!。初期の段階からいろんなタイプに分けられるが、自分を失い近くを徘徊するグループには何としてもなりたくない。それは〈冬の月〉のように〈無情〉で哀れなことである。

人賞

骨董店ゴッホの偽絵冬薔薇 三 洋

偽物の絵画の横行に警鐘を発する掲句。世は密かな絵画ブーム逆に先月には、レオナルド・ダ・ビンチの描いた「キリストの肖像画」がニューヨークで落札。何と508億円の史上最高値に唾然とした。それだけに偽物の絵画には更なるご注意を!!

特選

冬の水脈白き富士曳くクルーザー 和 女

初冬の東京湾、夫の操船する小さなクルーザーに乗り込む。きりりとした風が心地よい。青空の下、深い藍色の海が広がっている。波しぶきを上げながら進む船。振り返ると、後ろには白い波の道が一本、ずっと続いている。かなたには、雪の富士山が見える。あたかも富士を曳くかのように、水脈はずっと伸びていた。雄大な空と海、そして富士。自然の中では、人は小さな存在でしかない。波に揺られながら、ふとそう思うひとときでした。

冬うらら借り切って乗るクルーザー 一 馬

最近はお出かけることが殆どなくなりましたので、現在でもあるのかどうかよく知りませんが、何年か

前、桜木町駅に近い弁天橋の袂から出ている港の周遊船上で、昔の職場のOB会をやろうということになりました。初冬の好天に恵まれ、さらにOB連の一人でもあった周遊船の女性オーナーの肝いりで船は勿論貸切、酒と料理は豪華版、音痴の私までがカラオケのマイクを握る羽目になっての大はしゃぎ。今となっては再現不可能な、ただ懐かしいだけの愉楽でありました。

濡れ落葉滑る子らたち下校道

一 梶

私の家の前は通学路で登校時はせいぜい楽しそうにお喋りをするぐらいで学校の方向へ急ぎ足で行く。しかし、下校時は仲間同士で楽しそうにじゃんけんし負けたものにランドセルを幾つも背負わしたり、しり取りをしたり、男の子は時には小突きあったり、それはそれは賑やかなものである。先日も雨上がりの下校時に道の落葉の吹き溜まりになった所へわざわざ立ち寄り蹴散らしたり滑ったりとても賑やかな様子を目にした。子供たちは何でも遊びの対象にしてしまう柔軟で天才的な能力を持ち合わせている。

忘れ物今来たこの道帰り花

あきえ

グループで数か所の寺社を巡り、今回の最後の見学場所に着いた時、ひとつ前の公園にメモ帳を置き忘れた事に気が急いで戻りました。幸い忘れ物は置いた場所にそのまま有り一安心。再び同じ道を歩くと今まで見えなかったものが良く目に入りました。瀟洒な新築住宅、意匠を凝らした歩道の柵、振り返りの鮮やかな朱色のツツジ、足元には背の低いタンポポなど。この時の情景を句にしました。

寄せ鍋の煮立ちうからの国訛り

十 九

故郷熊本を離れ、京浜地区に家を構えた兄弟が、年に一度くらいはと、正月に家族全員で誰かの家に集まることを 続けていた時代があった。それぞれの家の子供達も まだ小さかったが、総勢十四・五人にもなることもあった。主婦の手間を省くこと、気安く食べやすいことを考え、鍋物にする事が多かった。大人も子供も、煮立った鍋を囲み自由にしゃべり、笑い、気が乗れば歌い、と大賑わいであった。そんな時 大人達は自然と「肥後弁」が口をついた。それは、故郷への自然な心のなびきでもあった。そしてまた、子供達は上手にそれを真似ては 大人達の笑いを呼んだ。「たまにゃーよかねえ、かあちゃんなおおごつばってんね」

115 回例会 平成 29 年 12 月 24 日

[秀作]

天賞

一声を待つ獵犬の背の意思

十 九

獵犬の狩の一瞬を捉えた秀吟。一般的に獵期は 11 月 1 日から翌年の 2 月 14 日までである。狩獵を許されているのは、鴨・水鳥などの水禽類。雉子・山鳥・雁などの山野の鳥。穴熊・狐・鹿などの獣類

である。これらの狩りには主として猟犬が使われている。飼いなされた猟犬は、主人である猟人の命令によく従い、猟人が行けと言えば、飛び出して獲物を捕らえるのである。掲句にあるように、主人（あるじ）の〈一声を待つ猟犬〉の〈意思〉は、〈背〉にはっきりと表れている。一声を待つ猟犬!!

地賞

朽ちし葉や来し方想ふティータイム 勇 平

人生の真理を考えさせられる掲句。先ず、〈朽ちし葉〉と言えば、極めて珍しい季語であってかつて目に掛かったことがない。〈朽ちし葉〉の一段階前の「枯れ葉」だと、直ぐにシャンソンの代表曲”枯れ葉”を思い出す。わが国でも昔流行した「おれは川原の枯れすすき、同じお前も枯れすすき――」の「枯れすすき」が浮かんでくる。これらと同じように〈朽ちし葉〉では、黄に赤みを帯びた腐ったような落ち葉を連想し、〈来し方〉＝過去を〈想ふティータイム〉へと展開する。しかし一方、来し方＝過去においては、ネガティブな否定的・消極的な人生行路がみられがちであったが、行く末＝将来においては、ポジティブな肯定的・積極的な人生行路の真髄に迫りたいと想うのでのである。いずれにせよ、示唆に富んだ哲学的な一句である。

人賞

客船の船長船医日向ぼこ 国 眼

豪華客船の忙中閑を想像する囑目句。〈客船〉のタイプにはいろんなものがあるが、ここでは豪華客船にスポットを当ててゆきたい。因みに、昨年横浜港では年間を通して過去最高となる180回近くの寄港があった。今年は横浜に船籍をもつ「飛鳥Ⅱ」や「ダイヤモンド・プリンセス」などの数多くの寄港船に加え、8隻の外国の豪華客船が初入港を予定している。これらのなかにはなんと4363人・全長333m・総トン数13万8トンの巨船も含まれている模様だ。一方、昨年暮れには「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2017」の国土交通省後援の受賞式もあり、昨年横浜港で最もオリジナリティーに溢れ、クルーズマーケット拡大に貢献したクルーズ“セレブリティ・ミレニアム”にグランプリ賞が贈呈されている。掲句は、客船の客が恐らく日光見学に出払い、クルーも外出許可が下り、客船の留守を預かり〈船長〉と〈船医〉が忙中閑の〈日向ぼこ〉を囑目していたのではあるまいか。

特選

冬薔薇心細き夜薫り撒く 和 女

木々の葉がすっかり落ち、いつの間にか空が広く見える頃となった。庭では冬薔薇が寒さに耐えながら凜と咲いている。この季節、日の落ちるのが早く、すぐに夜の闇が迫ってくる。寂寞感が漂い、人恋しくなる時間帯、薔薇から放たれた薫りは、しばし闇を薄めてくれるような気がする。

四十年続けて咲ける冬至梅

あきえ

新しい住宅に移った時、庭に花の苗木を十数本植えました。花の少ない3月初旬に赤い蕾を膨らませる花桃、4月の海棠、枝垂桜など目にも鮮やかな木は、四十年経つ間に姿を消してしまいました。一方庭の隅に植えた冬至梅は目立ちませんでした。毎年花をつけ存在感のある樹に育ちました。今年も変わらず花をつけ、我が家を見守ってくれているようです。人の生き方をも示唆しているように感じました。

うすき日を拾ひ留めて冬桜

とも女

最近、冬桜の花見情報も見かけるようになりました。近場では、富岡総合公園の冬桜が、記憶にあります。鎌倉の寺院の冬桜は、見事で、寺の建物とよくマッチしています。冬桜は、ソメイヨシノと比べると、花が小ぶりで、華やかさに欠け、色も殆ど白に見えます。しかし、冬の鈍い日光を精一杯取り入れて、主張せず、健気に咲いている姿は、気品に満ちていました。

明け方の菜園狸駆け抜けり

三 旦

昨年も、同じ時期に畑の百姓真似事の体験句で特選をいただいた記憶があります。やはり、俳句とは机の上での語句の入れ替えではなく、出来事をそのまま詠むことなのだろうと思いました。他人様（選者）には、それがすぐお分かりになるのでしょうか。この句は夜明けの情景をそのまま詠んだもの。借りている菜園では烏は日常茶飯事。ハクビシンは時々遭遇しますが、狸は初めてでした。この時期、午前6時はまだ暗い。震えながら日の出を待っていたら、ネギのあいだに光る眼。あれれと思ったら、相手はこちらに気づき、あっという間に走り去って行ってしまいました。

ご退位の目処付きほっと冬紅葉

一 馬

天皇陛下の生前退位にかかわる皇室会議のあと、テレビで、両陛下が静かに紅葉を眺めていらっしゃるシーンが放映され、それに続いて、参賀に訪れた人々の一人が帰路にスマホか何かで紅葉を撮っていたのが印象的でした。陛下ご自身にとってはまだまだ複雑なご心境かも知れませんが、一応は一段落されたことかと拝察いたします。また、一般の国民にとっても、8月のお言葉以来少し安堵できるような状況になったのではないのでしょうか。



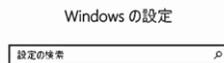
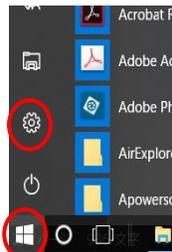
Windows の OS (Operating System) が Windows10 になって今までと使い勝手が違うと戸惑っている方がおいでです。Microsoft は、2週間に1回の頻度で更新プログラムを送り付けてきますが、この更新を実施しないとパソコンの調子が悪くなることもあります。

今回は、パソコンの使い勝手を良くする OS 関係と Word の2テーマをご紹介します。

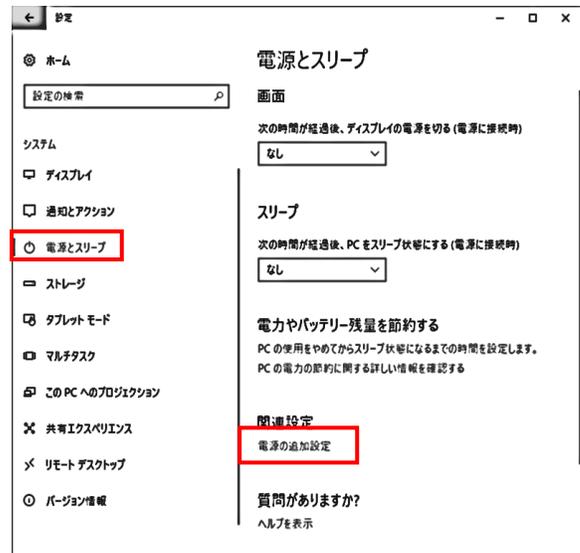
1. 高速スタートアップを無効にする

高速スタートアップは Windows8 から導入された技術です。シャットダウン時にパソコンの状態を保存しておいて、立ち上げ時間の短縮を図るものです。ただ、シャットダウン後に周辺機器等を変更した時には「起動時に Numlock がオンにならない」、「起動時にブルースクリーンエラーが発生する」等の不都合が発生する可能性があります。そこで、高速スタートアップを無効に設定するため、次の手順で操作してください。

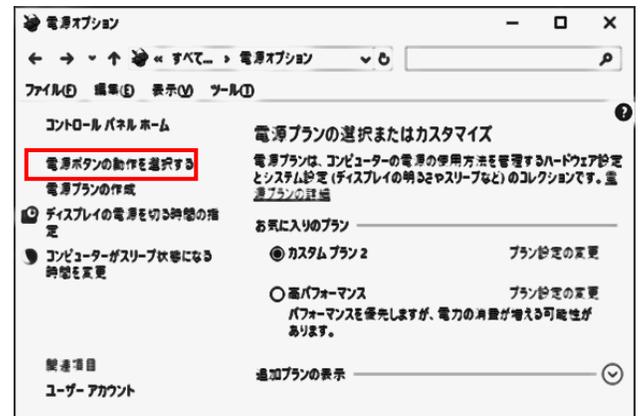
- ① デスクトップ画面左下の『Windows』(窓の形) ボタンをクリックし、現れたスタートメニューから『設定』(歯車の形) ボタンをクリックして設定画面を開く。
- ② 下の『設定』画面で『システム』をクリックする。



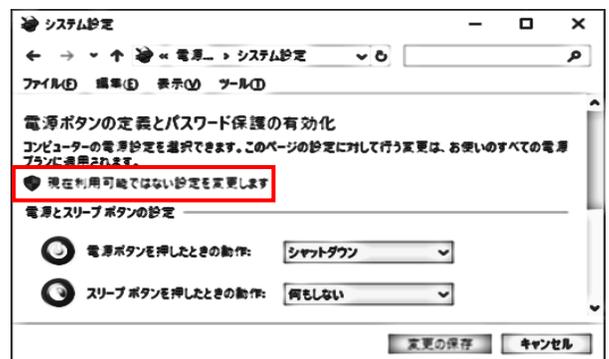
- ③ 左側のメニューで『電源とスリープ』タブを選択し、『電源の追加設定』をクリックする。



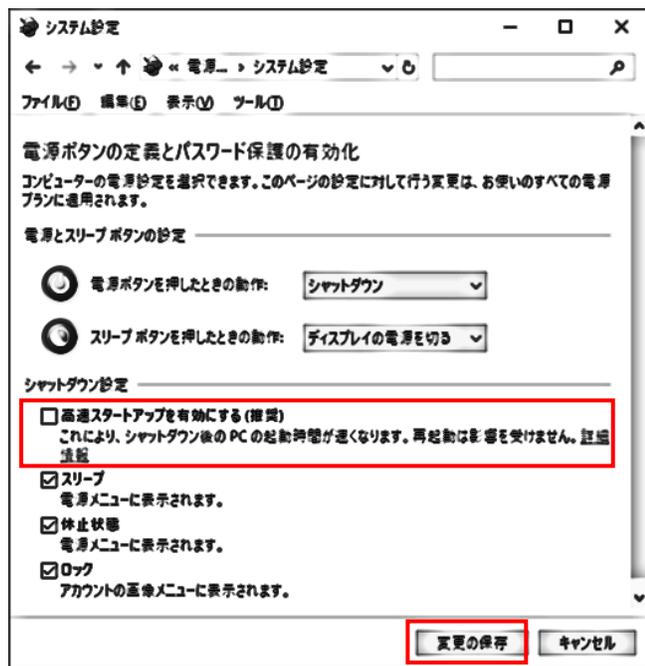
- ④ コントロールパネルの画面が開くので、『電源ボタンの動作を選択する』をクリック。



- ⑤ 下の『システム設定』画面で『現在利用可能ではない設定を変更します』をクリック。



⑥ シャットダウン設定が選択できるようになるので、その中の『高速スタートアップを有効にする』のチェックを外す。



⑦ 『変更の保存』をクリックして設定を保存する。
以上の操作で『高速スタートアップ』を無効にできます。

再度有効にするには、もう一度この手順を実行して『高速スタートアップを有効にする』にチェックを入れます。

2. Word で既定の保存先を変更する

Word で文書を作成してこれを保存する時の話です (Excel でも同じです)。Word2013、2016 ではファイルを保存しようとするすると下の図のように「OneDrive」への保存に誘導されます。「OneDrive」は Microsoft のサーバにある保存

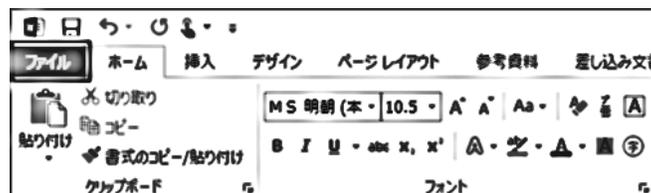


場所で、別のパソコンからもアクセス出来るなど

便利なものですが、Internet へ接続していないと使えないし、ファイルを探すのが難しいものです。

そこで、以前のように保存先をパソコンに設定する方法をご説明します。次の手順で操作してください。

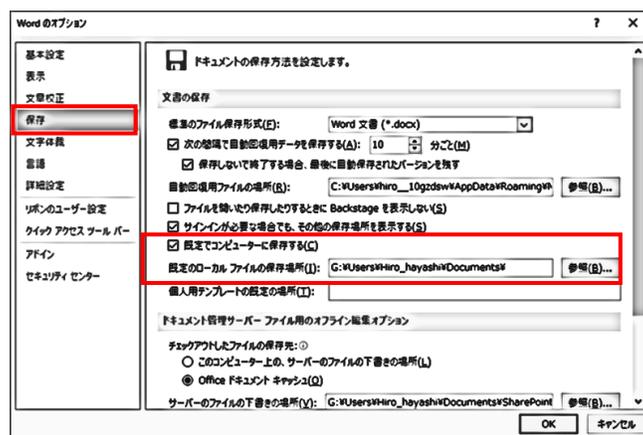
① 下の図は WORD の編集画面で『ホーム』タブを選択しています。このリボンで『ファイル』タブ



をクリックする。

② 現れたメニューの下端にある『オプション』をクリックする。

③ 『Word のオプション』が下図のように表示される。



④ 画面左側の『保存』をクリックし、『既定でコンピュータに保存する』にチェックを入れて『OK』をクリックする。

これで保存先が「コンピュータ」の「ドキュメント」に設定されます。既定の保存先を「OneDrive」に戻すには、『既定でコンピュータに保存する』のチェックを外します。

分科会からのたより

江戸時代の五街道を歩く(1)

古文書を読む会 代表 真田 雅行

『江戸時代の五街道を歩く』の会報掲載について

歴史に関係したことで何かをやりながら老後の余暇を少しでも有意義に過ごす方法として、『江戸時代の五街道』を歩いてみようと思い浮かんだのは、もう15年以上も前になる。歩くことについては彼は30年続けているので苦にはならなかった。

踏破し終わってから記憶が薄れないうちに記録に残しておきたい、と思って知人に頼んで本にしてもらった。

現在“わ”の会の「古文書を読む会」で古文書のおさらいをして、頭の衰えをなるべく遅らせるようにしているが、物忘れは進む一方である。

今この記録を読み直してみても、15年前は若かったなあ、としみじみ感じている。

もう15年前には戻れないが、時々読み直して気力だけは持ち続けたいと思う。

私のこの紀行文が少しでも活力の足しになればと思いご参考に供する次第である。



記述はシリーズものとして何回かに分けることとした。

写真は自分が道中でカラー撮影したが、会報掲載は白黒である。

なお、中山道については5～6年前に会報に掲載させていただいたが、今回五街道の一環として再度掲載してもらおうこととしたのでご了解いただきたい。

平成30年1月

真田雅行

はじめに

江戸時代の五街道とは、東海道・中山道・日光街道・甲州街道・奥州街道（青森県三厩迄は800km。但し今回は仙台迄）で、今回歩いたのは約1,600kmだが、寄り道した分を入れれば倍の3,000kmにはなるであろう。

(1) 東海道	日本橋～京都(三条)	約500km
(2) 中山道	日本橋～近江(草津)	約530km
(3) 日光街道	日本橋～日光	約140km
(4) 甲州街道	日本橋～下諏訪	約220km
(5) 奥州街道	宇都宮～仙台	約260km(日本橋～仙台 約350km)
	合計	約1,650km

五街道踏破チャレンジを思い立ったのは約10年前、出発したのは7年前（平成14年）であった。動機としては頭と足腰の老化の防止のほかに、街道歩きの現場体験によって、昔の旅の苦勞と雰囲気を感じてみたいと思ったからである。

以前から歴史には興味があり、司馬遼太郎氏の『街道をゆく』（全43巻）を全部読んだが、出発前に2年間母校の学生寮に入って日本史を聴講し、更に先人達が残した古文書を直接読んで筆跡その他からその背景と時代精神理解のため、地元の大学で4年間古文書講座を受講しながら、平成14年9月日本橋をスタート、先ず東海道から歩きを始めた。

ただ歩くだけではなく、あちこち見たい場所に寄り道するため、すべて一人での自由な旅にして、宿泊先も原則予約せず、且つ極力古い旅籠はたごや民宿などに泊って、宿の「おかみ」から昔の話を聞くようにした。

そして自宅（横浜）から近いところでは日帰りとし、だんだん遠くなるにつれて1～3泊とした。踏破には期限を設けず、日常生活の合間をぬって旅を続けたので、例えば東海道500kmを京都・三条大橋までたどり着いたのは翌平成15年の秋だったから、1年以上掛ったことになるが、正味では1か月程度だった。

江戸時代の旅人なら、東海道を歩くだけなら一日に35～40kmは歩いたから、2週間あれば十分現地到着できた。私の場合大分寄り道をしたので、東海道を多分倍の1,000kmは歩いたであろう。平均すれば一日約35kmくらいになる。

現在の国道や県道は大部分旧道に沿って建設されたので、ダブッているところがかなりあり、交通量の多い地域や都市化が進んだところは魅力に欠ける感は否めなかったが、山間部を中心に当時の面影を色濃く残しているところも多く、それが大きな魅力であった。

旧街道の旅については、当時の安藤広重や英泉などの画家達が各宿の様子を描いているので、事前に鑑賞したおかげで旅が一層味わいのあるものになったと思う。

1. 「旧東海道」は参勤交代などで最も往来が激しく、当初は江戸防衛のため軍事面が重視され、険しい峠を通ったり、川に橋を架けなかったり、一部海路にしたために、旅人はさぞ大変だったであろうことを歩いてみて実感した。

現在の国道1号と異なるところとしては、(1)箱根峠の登りが湯本の三枚橋から左折して畑宿経由だったこと、(2)熱田神宮の「宮宿」から「桑名宿」までが海路であったこと、(3)現在の岐阜～米原ルートではなく、鈴鹿峠越えルートだったことなどである。

難所はやはり箱根峠、鈴鹿峠、薩埵峠^{さつた}で、箱根峠登りでは関東大震災で未だに通行止めになっている場所がある。

宿^{しゆく}では国から「重要伝統的建造物群保存地区」に指定された伊勢街道との分岐点にある「関宿」が必見で、宿全体が当時のまま復元されて、江戸時代にタイムスリップした感じで電柱は一本もない。中山道の「奈良井宿」と全く同様である。

2. 「中山道」は近江の草津で東海道と合流するが、距離は東海道より長く、約530kmあり、日本橋から板橋を通り北上し、高崎で左折して信州路に入り、碓氷峠を越えて軽井沢・佐久・下諏訪・木曾路・恵那・関ヶ原・琵琶湖東岸を抜けて草津までであるが、山間部を通るので、全体としては当時の面影が最もよく残っている。

ただ信州や美濃では旅籠^{はたご}の廃業により、泊る施設の全くない宿場がいくつもあるので、スケジュールを事前によく検討することが必要。逆に街道の旅の雰囲気はたどえ様もなくよい。木曾路の旅では、藤村の『夜明け前』を読んでいくと、一層情趣が味わえる。天下分け目の「関ヶ原合戦」現場をゆっくり見てまわるのも興味あるものだ。

3. 「日光街道」は、徳川家康が遺言して久能山から日光に転葬されて以来、急速に発達した街道で、宇都宮までは奥州街道と重なる。

ここでのハイライトはやはり「今市宿」からの「日光の杉並木」であろう。

この街道は又一部松尾芭蕉の『奥の細道』ルートにも当たっていて、芭蕉はこの先日光から更に奥州街道を北上し、仙台・松島に来ている。奥の細道を読んでいくと旅に幅ができる。

4. 「甲州街道」は、四谷―新宿―八王子―甲府―下諏訪220kmだが、特に甲府までは、江戸万一の場合の将軍家の避難ルートとして重要視された。

街道らしさが出るのは、八王子城址から小仏峠を過ぎ、笹子峠を越えて甲府盆地に入るあたりからで、それに富士山・八ヶ岳・南アルプスの山々の重層する眺望は格別である。

武田信玄を頂点とする武田一族の盛衰を辿るのも歴史に興味を持つ者の醍醐味だ。

5. 宇都宮以北の「奥州街道」は今回は仙台迄としたが、更に街道は北上して、一の関—盛岡—三戸—青森—三厩みんまやと続き、江戸から800kmもある。このうち幕府の道中奉行の管轄下にあったのは「白河関」迄で、そこまでは関東であった。

このルートも那須岳・磐梯山・吾妻連峰・蔵王などの名峰を左に見ながら、白河・須賀川・白石・仙台・松島など芭蕉の『奥の細道』ルートを辿る路でもあり、興味が尽きない。



著書「江戸時代の五街道を歩く」の表紙

ロコモ対策として“わ”の会を活用

鶴岡 重典

中高年の健康を考えるうえで、キーワードとなる言葉に「メタボ」と「ロコモ」があります。「メタボ」とはメタボリック・シンドロームの略称で内臓脂肪型肥満に加えて高血圧、高血糖、高脂血症のうちの2要素に該当する場合に認定されるもので、所謂生活習慣病になるリスクの高い状態をいいます。この「メタボ」については日常の中でもかなり浸透してきているのでご存知の方も多いと思います。

そこで「ロコモ」ですが、「ロコモ」とはロコモティブ・シンドロームの略称で、加齢に伴い、立つ、座る、歩くなどの移動能力が低下し、一人で日常生活を送ることが困難になる状態。わかりやすくいえば、介護を必要とするようになることをいいます。これは「メタボ」という言葉が世の中に受け容れられたことに倣って、整形外科医が言い始めた言葉で「メタボ」に比べればまだ一般的にはあまり馴染みがないと思われれます。

「ロコモ」を予防するために一般的によく言われている対策として「食生活」と「運動習慣」があります。すなわち、栄養バランスの良い食事をすることがまず大事。

次に、筋力を維持するために適度な運動を習慣的に行うこと。具体的にはウォーキング等の有酸素運動を習慣づけて行うことがあります。私の住まいの近くにある六浦地区センターでは月に1回「ロコモ予防体操」と銘打った企画を

実施しています。余談ですが、私も一度参加した時のこと、参加者15人程度のうち男性は私1人で他はすべて女性。さらに、驚いたことは参加者が前の方の席（インストラクターに近い席）から埋られてきており、どうして女性は男性に比べてこんなにロコモに関心が強いのかと疑問に感じたのですが、インストラクターが登場した瞬間その理由が一瞬にして氷解しました。そのインストラクターがジャニーズも真っ青な超イケメンだったのです。後でホームページを調べてみると確かに元・俳優であったことがわかりました。

閑話休題。私個人としては、メタボ予防対策として通常いわれている上記の二つ以外に「人づきあい」を考えています。人間は社会的動物といわれていますが、この「人づきあい」の一環として“わ”の会の活動を位置づけてみてはいかがでしょうか。メインの学習会はもとより、趣味として「映画」でも「寺社巡り」でも「俳句」でもなんでも自分に関心のある分科会に積極的に参加して共通の趣味の仲間を得ることがロコモ予防にも効果があると確信しています。

“わ”の会への入会経緯はひとそれぞれだと思いますが、縁あって入会したわけですから、この機会を有効に活用してロコモとは無縁の健康な生活を送っていただきたいと念願しています。

会員の動静

<訃報>

“わ”の会 会員 平松節子氏（金沢区並木）

2017年9月逝去されました。享年72歳

“わ”の会 会員 沓掛勝利氏（金沢区能見台）

2017年11月逝去されました。享年79歳

生前の“わ”の会に対する多大なご貢献に感謝いたしますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



行事予定

2018年3月～5月の予定

注：表中の「CC」は、「地区センター」の略

	3月	4月	5月
学習会	予定なし	予定なし	5月12日(土) 能見台CC 9:30~12:30 ・総会 ・学習会「朝比(夷)奈切通しと峠村と六浦道周辺」 “わ”の会会員 真田雅行氏
寺社を巡る会	3月1日(木) 10:00 集合：泉水橋バス停 テーマ：鎌倉の梅 訪問先：明王院、浄明寺、瑞泉寺 荏柄天神社	4月5日(木) 10:00 集合：大船駅西口 テーマ：大船の桜 訪問先：大船観音寺、龍宝寺等 4月13日(金) ・総会：場所・時間未定	5月11日(金) 10:00 集合：場所未定 テーマ：未定
古文書を読む会	3月8日(木) 10:00~ 場所：金沢公会堂リハーサル室 題目：野島浦鈴木家文書 3月22日(木) 10:00~ 場所：金沢公会堂リハーサル室 題目：艱難實録(函館戦争)	4月12日(木) 10:00~ 場所：金沢公会堂リハーサル室 題目：野島浦鈴木家文書 4月26日(木) 10:00~ 場所：金沢公会堂リハーサル室 題目：艱難實録(函館戦争)	5月10日(木) 10:00~ 場所未定 題目：野島浦鈴木家文書 5月24日(木) 10:00~ 場所未定 題目：艱難實録(函館戦争)
ふれあいの道歩こう会	3月15日(木)(予備日16日(金)) 独自コース57番=通算139回 南郷山から幕山 静岡県 湯河原市	4月4日(水)(予備日6日(金)) 独自コース58番=通算140回 弘法山(235m) 神奈川県 秦野市	5月17日(木)(予備日18日(金)) 独自コース59番=通算141回 秩父御岳山(1080m) 埼玉県 大滝村
懐かしの映画を観る会	3月12日(月) 金沢CC 12:15~ 駅 STATION 3月26日(月) 金沢CC 12:15~ 黄昏	4月9日(月) 金沢CC 12:15~ シェーン 4月23日(月) 金沢CC 12:15~ 細雪	5月14日(月) 金沢CC 12:15~ 恐怖の報酬 5月28日(月) 金沢CC 12:15~ ライムライト
浮雲俳句会	3月25日(日) 9:30~ 第118回例会 能見台CC テーマ タンカー	4月29日(日) 9:30~ 第119回例会 能見台CC テーマ 帆掛舟	5月20日(日) 9:30~ 第120回例会 能見台CC テーマ ヨット
パソコンを使いこなす会	3月13日(火) 金沢CC Explore 実用講座 -Exploreの使いこなし- 3月20日(火) 金沢CC WORD 実用講座 -校閲タブ- 9:30~12:00	4月3日(火) 金沢CC EXCEL 復習講座 -文字とセルの書式- 4月17日(火) 金沢CC Internet 実用講座 -Google フォト- 9:30~12:00	5月8日(火) 金沢CC EXCEL 復習講座 -数式や関数の利用- 5月15日(火) 金沢CC WORD 実用講座 -日本語入力の常識- 9:30~12:00

連絡先:

- ・学習会 090-6176-4543(内田) ・古文書を読む会 784-4900(真田) ・浮雲俳句会 774-3878(北野)
- ・ふれあいの道歩こう会 787-3250(江口) ・懐かしの映画を観る会 701-1606(佐藤)
- ・寺社を巡る会 046-866-3339(吉田寿紀) ・パソコンを使いこなす会 701-9775(林)

編集後記 2019年に天皇が退位されることとなりました。同時に和暦年号が変更されます。西暦での生活をしてきた私は“わ”の会では和暦優先で違和感を感じていました。この機会に西暦優先ではと感じています。但し、大正ロマン、昭和レトロなどいろいろあります、平成は何か出てくるのかは楽しみです。大分県豊後高田市では、レトロブームでシャッター商店街化した町を平成13年(2001)に「昭和の町」を立ち上げました。今では年間40万人の来訪者を迎えているそうです。 (江口正彦)	発行日	平成30年2月18日
	発行月	年4回発行(2、5、8、11月)
	発行者	金沢区生涯学習“わ”の会
	編集長	鈴木 秀幸(代理：山腰)
	編集委員	相川 勲 田中 徳明 柴崎 幸治 佐藤 和広 渡邊 紀一 山腰策次郎 江口 正彦